

表 2 - 8 - 1 内分泌かく乱物質と尿道下裂に関するコホート研究

地域・対象者	対象者数	追跡期間	化合物	相対危険度	検討された交絡要因
Mau, 1981 独 Course of Pregnancy and Child Development 1965-1972のプロゲステロン製剤の使用妊婦と非使用妊婦	7525例 暴露群：559例 非暴露群：3043例	出産まで	妊娠中ホルモン剤使用 (流産防止薬、妊娠検査薬)	1.75 (0.5-4.4)	薬剤使用、病歴、喫煙、飲酒、コーヒーの摂取など病歴、喫煙、飲酒、カフェイン摂取、化学物質暴露
Shapiro, 1982 米国 Collaborative Perinatal Project 1958-65の経膈避妊薬の使用妊婦と非使用妊婦	50282例 暴露群：462例 非暴露群：49820例	出産まで	nonoxynol octoxynol	0.6(0-3.4)	出産後訪問回数、母年齢、妊娠週数、出生時体重、妊娠回数、母病歴(糖尿病など)、子癇、喫煙、同胞の奇形
Correy, 1991 豪 tasmania 1982-89の妊娠中の薬剤暴露の有無	56027例		アスピリン	3.5(1.4-8.8)	飲酒、喫煙、薬剤使用の詳細
North, 2000 英 Avon Longitudal Study of Pregnancy and Childhood 1991-1992に出産予定の妊婦	7928例	出産まで	菜食(対雑食) OR: 3.88(1.69-8.92) 菜食(対雑食 + 鉄剤) 4.99 (2.10-11.88)		飲酒・喫煙、妊娠回数、流早産回数、避妊薬、妊娠年齢、初経年齢、食餌内容、妊娠中の感染症
Klip, 2002 オランダ OMEGA project に参加した妊婦	8934例男児 暴露群：205 非暴露群：8729	出産まで		DES 有病率比(PR)：21.3%(95%CI=6.5-70.1)	

表 2 - 8 - 2 内分泌かく乱物質と尿道下裂に関するコホート内症例対照研究

地域・対象者 (症例/対照)	化合物・暴露	オッズ比 (95%信頼区間)
Longnecker, 2002 米 Collaborative Perinatal Projectコホート内症例対照研究 尿道下裂 / 対照 = 166 / 552	母親の血清中DDE濃度4分位の最も高い群 (最も低い群をreference)	1.2(0.6-2.4)

表 2-8-3 内分泌かく乱物質と尿道下裂に関する症例対照研究

地域・対象者 (症例/対照)	化合物・暴露	オッズ比 (95%信頼区間)
<p>Bjerkedal, 1975</p> <p>ノルウェイ (出生年: 1967-74)</p> <p>人口ベース</p> <p>全奇形/尿道下裂/対照=265/10/265</p>	<p>ピルの使用 関連なし</p>	<p>(数値記載なし)</p>
<p>Källén, 1979</p> <p>スウェーデン 出生年 (1965-77)</p> <p>人口ベース (先天奇形登録・出生登録)</p> <p>尿道下裂/対照 (全奇形・出生年月・出生地・母年齢×ツナ) -48/48</p>	<p>妊娠中のホルモン製剤使用 関連なし</p>	<p>(数値記載なし)</p>
<p>Angerpointner, 1984</p> <p>独 ババリア 出生年 (1970-79)</p> <p>病院ベース</p> <p>尿道下裂/対照=515/515</p>	<p>農村に居住とscrotal typeの関連 p<0.05</p> <p>農夫の妻scrotal typeの関連 p<0.05</p>	
<p>Calzolari, 1986</p> <p>伊 エミリア・ロマーニャ (出生年: 1978-83)</p> <p>人口ベース(先天奇形登録)</p> <p>症例/対照 (出生時期をマッチ) =167/378</p>	<p>妊娠中のプロゲステロン製剤 1.65 (p<0.05)</p> <p>経口避妊薬 関連なし</p>	<p>(数値記載なし)</p>
<p>Louik, 1987</p> <p>米国 (出生年: 1983-86)</p> <p>病院ベース</p> <p>尿道下裂/対照 (他奇形) =396/3442</p>	<p>時期を限定しない経膾避妊薬使用 1.2(1.0-1.6)</p> <p>受胎期の経膾避妊薬使用 1.2(0.8-1.7)</p> <p>第1三半期の経膾避妊薬使用 1.1(0.7-1.7)</p>	

地域・対象者 (症例/対照)	化合物・暴露	オッズ比 (95%信頼区間)
Czeizel, 1988 ハンガリー 人口ベース (ハンガリー先天奇形登録(HCMR)、先天奇形のためのハンガリー症例対照研究サーベイランスシステム(HCCSSCA)) 尿道下裂/対照=877/10962	妊娠中のallylesterenol 使用	p < 0.05
Stroll, 1990 仏 アルザス (出生年: 1979-87) 人口ベース (先天奇形登録) 尿道下裂/対照 (出生時期・病院マッチ) =176/176	経口避妊薬	0.49(0.20-1.20)
Källén, 1992 ICBDMS デンマーク・ハンガリー・スウェーデン: 人口ベース イタリア・メキシコ・南米・スペイン: 病院ベース 尿道下裂/対照(先天奇形のない女性に産まれた児)=846/846 (出生年: 1986-89)	妊娠8-16週のホルモン剤使用 妊娠8-16週のプロゲステロン・その誘導体の使用 妊娠8-16週のホルモン剤使用 (切迫流早産、流産・死産既往、不妊症、喫煙を調整)	2.3 (1.2-4.4) 2.3 (1.01-5.15) 2.8 (1.2-6.9)
Kristensen, 1997 ノルウェイ ノルウェイ (出生年: 1967-91) 人口ベース (農業センサス、人口統計、出生登録) 先天奇形/尿道下裂/対照=4565/270/188085	農業・畜産業従事 トラクターでの農薬撒布 トラクターでの農薬散布 + 穀類生産	1.00(0.75-1.34) 1.38(0.95-1.99) 1.51(1.00-2.26)
Weidner, 1998 デンマーク (出生年: 1983-92) 人口ベース (人口登録、患者登録、奇形登録) 尿道下裂/対照 (無作為抽出) =1345/23273	母親の農業・園芸業 母親の農業 母親の園芸業 父親の農業・園芸業 父親の農業 父親の園芸業	1.27 (0.81-1.99) 1.26 (0.68-2.33) 0.85 (0.34-2.11) 1.19 (0.96-1.49) 1.16 (0.88-1.53) 1.47 (0.63-3.39)

地域・対象者（症例/対照）	化合物・暴露	オッズ比（95%信頼区間）
Dolk, 1998		
EUROHAZACON study	廃棄物埋立処分場からの母親住所の距離 全研究区域	3km以内
人口ベース（廃棄物埋め立て処分場周辺）	1.00	1.96（0.98-3.92）
全奇形/尿道下裂/対照=806/45/2366		
Bianca, 2003		
伊	父親の精油所での労働(Hydrocarbon暴露)	5.5(1.22-24.7)
人口ベース(奇形登録)	父親の温室での労働(Pesticide暴露)	2.9(1.01-8.55)
尿道下裂 / 対照(神経管欠損、心奇形、口蓋裂、腎泌尿器奇形を除く全奇形) = 68/211		